

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 井原精機株式会社		住所 〒 715-0021 岡山県井原市上出部町431-3											
本票作成	部署名 : 管理部 総務グループ													
主たる業種	分類コード 31	業種名 : 輸送用機械器具製造業												
事業の概要	自動車部品の製造													
県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地											
	①	笠岡工場	笠岡市茂平1234											
	②	総社第二工場	総社市久代1920-2											
	③	井原工場	井原市上出部町431-3											
	④	総社工場	総社市真壁1500											
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500㎘以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数) 4 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台													
温室効果ガス排出量	基準年度(令和5年度)	(令和6)年度排出量	目標年度(令和6年度)											
	7,664 t CO ₂	8,450 t CO ₂	7,969 t CO ₂											
	番号	工場等の名称	(令和6)年度排出量											
	①	笠岡工場	5,060 t CO ₂											
	②	総社第二工場	2,872 t CO ₂											
	③	井原工場	437 t CO ₂											
	④	総社工場	81 t CO ₂											
			t CO ₂											
			t CO ₂											
			t CO ₂											
削減目標の達成状況	計画期間 : 令和6年度 ~ 令和6年度 (1箇年度)													
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(6)年度削減実績	目標削減率	目標達成										
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	△ 10.3 %	3.98 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達										
	(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 <table border="1"> <tr> <td rowspan="2"></td> <th colspan="3">原単位当たり排出量</th> </tr> <tr> <th>基準年度</th> <th>(6)年度</th> <th>目標年度</th> </tr> <tr> <td></td> <td>CO₂/()</td> <td>CO₂/()</td> <td>CO₂/()</td> </tr> </table>				原単位当たり排出量			基準年度	(6)年度	目標年度		CO ₂ /()	CO ₂ /()
	原単位当たり排出量													
	基準年度	(6)年度	目標年度											
	CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()											
(該当事業者のみ記入)														
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和6年度)	達成率等										
【削減状況の自己評価】 政府目標である令和12年度(2030年度)に平成25年度(2013年度)比46%減に対し、社内目標として70%減を目指として掲げている。 令和5年度までは目標に対し達成で進められていたが、電力会社の排出係数に大きく影響を受け昨年度は未達くなっている。(関西電力のCO ₂ 排出係数がこの数年で20~30%増加) CO ₂ 排出量における電力由来の割合や、社内での活動による削減量等の状況を踏まえ、2025年度に向け、改めて電力会社及び契約プラン(再エネプラン導入等)を見直し、2025年度より変更することで対策を行っていっている。														

【推進体制】

2021年4月に社長を委員長としたSDGs推進委員会を立上げ、カーボンニュートラルに向けた活動の推進を行っている。

特に重要な活動については推進委員会メンバーを中心として部会を設置し個別で活動を計画・実行している。

また、2025年度9月よりカーボンニュートラルの推進を目的として新しく全社横断のチームを立ち上げる予定。
(社内調整中)

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
笠岡工場、総社第二工場	(2019年度～2024年度実施分) ※2020年度以降は全体的に支出を抑えたため、一部活動のみ実施 <ul style="list-style-type: none">工場内照明の省エネ照明化（ライン新規設置・変更時）太陽光発電の導入（合計340kWをPPAで導入）加工ライン等の集約（2024年度末に完了） ※井原工場→笠岡・総社第二に設備集約
笠岡工場	<ul style="list-style-type: none">高効率ラインの設置、冷間鍛造の活用（ニアネットシェイプ活動推進）受電設備の高効率トランスへの更新
井原工場、笠岡工場、総社第二工場	<ul style="list-style-type: none">低稼働ラインの撤去、加工ライン等の集約油圧ポンプの自動停止化（新規設備導入時）年度毎に電力会社を選定。選定時にCO₂排出係数を考慮して選定。 (2020年度以降実施、総社工場は共同受電のため対象外)
全工場	(今後の取組み予定) <ul style="list-style-type: none">工場証明の省エネ照明化（ライン新規設置・変更時）・・・継続実施DX化（又はデジタル化）の推進による無駄の削減低稼働ラインの撤去、高効率ラインの設置
笠岡工場	<ul style="list-style-type: none">冷間鍛造の活用（ニアネットシェイプ活動推進）コンプレッサーの更新（レシプロ機→インバーター機）受電設備の高効率トランスへの更新（2台/年を更新継続）レンタル活用（高効率照明への転換、空調機の更新 等） ※25年度上期実施
笠岡工場、総社第二工場	<ul style="list-style-type: none">工場内熱溜まりの解消（空調機の負担減）

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	2024年度工事：笠岡工場 屋根上を活用しての設置（約120kW） 総社第二工場 屋根上を活用しての設置（約220kW）
その他	無	

【その他特記事項】

（この欄は未記入となります）